

単元まるごと計画「ハローでともだち」（全2時間）

単元のゴール（can-do）：世界にはいろいろな言語のあいさつがあることに気づき、あいさつをして自分の名前を伝え合うことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	英語や世界のいろいろな言語のあいさつ、名前の言い方に慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	友だちと仲よくなるために、あいさつをして名前を伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	相手に目を向けて、すすんであいさつをして名前を伝え合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。○のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全2時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	－	世界のあいさつと出会う（ジェスチャーごっこ）・Hello, I'm ○○. を先生と	歌（Hello Song）	記録なし
2	－	ハロー・チェーン→なまえカードあいさつラリー（5人と交わす）	歌＋世界のあいさつ	◎ 行動観察＋振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・Hello Song	—（Let's Try!付属音源）
5-12	あいさつカードで練習	あいさつカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（チェーン→ラリー）	活動シート1～3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 世界のあいさつ（活動2）は4か国でよい（8か国全部やらない）
- 2. ラリーの人数は5人→3人に減らしてよい（回数より「目を見て言えた」を大事に）
- 3. なまえカードのかざりつけは宿題や休み時間の楽しみに回す

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ あいさつカード（提示用1部）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）+シート2（先生用・1部）
- ☐ なまえカード用の厚紙（1人1枚・ハつ切り画用紙の1/8程度）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・ 声を出すことに不安が強い子は「手をふる・おじぎ」のジェスチャーだけで参加OK（あいさつは声だけではない、と最初に全体へ伝える）
- ・ 名前を言うのが恥ずかしい子には、なまえカードを見せるだけの参加から。言えたら先生と一緒に喜ぶ
- ・ チェーンは「となりの子と同じでいい」が安心のもと。うまい子の後に置くと連鎖でまねできる

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・ 最初の授業の空気がこの1年を決める。「まちがえた子をだれも笑わなかった」ことを授業の最後にほめると、以後の外国語活動が安全な場所になる
- ・ Hello, I'm ○○. の I'm は「アイム＝わたしは」と訳して教えない。かたまりのまま何度も聞かせてまねさせる（3年は音まろごと）
- ・ 世界のあいさつは「発音の正確さ」を求めない。「国によってちがうって面白い」の声を拾って板書する（気づきの評価はそこで取れる）